

九州

九州の景況は、住宅建築がやや弱含んだものの、輸出が回復に向けた動き、生産活動が持ち直すなど、持ち直し。

個人消費は、乗用車販売が増加したものの、飲食料品を中心に大型小売店販売が減少するなど、やや弱含み。住宅建築は、持家が増加したものの、貸家、分譲住宅が減少するなど、やや弱含み。設備投資は、製造業・非製造業ともに投資を積み増す動きがみられるなど、緩やかな持ち直しの動き。公共工事は、国が減少したものの、県、市町村が増加するなど、横這い。輸出は、化学製品が減少したものの、電気機器、輸送用機器が増加するなど、回復に向けた動き。

生産活動は、化学、鉄鋼が減少したものの、金属製品、電子部品・デバイス、輸送機械が増加するなど、持ち直し。観光は、台風や豪雨により入込客数が伸び悩んだものの、外国人客が増加するなど、上向き。雇用は、宿泊業・飲食サービス業を中心に新規求人数が増加し、有効求人倍率が高水準で推移するなど、改善。

先行きは、持ち直しの動きが続くとみられている。

景況判断	個人消費	住宅建築	設備投資	公共工事	輸 出	生産活動	観 光	雇用情勢
								